



令和5年11月17日(金)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

「北九州市子ども読書プラン」について

北九州市子ども読書プランとは？

市内のすべての子どもが、あらゆる場所であらゆる機会に、楽しく自主的に読書に親しむことができるようになるためのプラン(今回は第4次計画でR3年度から5年間の計画)です。

何のために読書をするの？(読書の意義)

☆ 読書は、「言葉の力をつける」「自分ができないことを疑似体験できる」「知らないことを知る」

「他人の考えに触れる」「自分を高める」など、様々な発見や感動をもたらす楽しいものです。

☆ 自分で考え、判断し、主体的に生きていくために、読書を通じ、生涯にわたって自発的に学ぼう

とする習慣を身に付ける上で重要なものです。

☆ 読書は、読解力、表現力、思考力、想像力、問題解決力など多くの「生きる

力」を身に付けることに役に立つ大切なものです。

こんな子どもの姿を目指します！

すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、

子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常を目指します。

実現するために

*読書に親しむ子どもを増やします。*読書の大切さを知る子どもを増やします。

*子どもの読書を支える大人、読書好きな大人・家庭を増やします。

「北九州市子ども読書の日」(R5年度は10月22日)について

子ども読書プランの3つの方向性(「読書に親しむ子どもを増やす」「読書の大切さを知る子どもを増やす」「子どもの読書を支える大人を増やす、読書好きの大人・家庭を増やす」)の実現を目指して、令和3年度から、秋の読書週間(10月27日～11月9日)直前の10月の第4日曜日を「北九州市子ども読書の日」に制定しました(令和5年度は10月22日)。

この日に、子ども図書館を中心とした市立図書館では、各館独自の催し物を全市一斉に開催します。また、学校では「北九州市子ども読書の日」前後の2週間に読書に関する指導や取組を行います。市民全体で読書活動に取り組み、読書の意義を感じ取り、学校・地域・家庭を通じて、子どもの自主的な読書活動がより一層進められることが望まれます。

北九州市子ども読書の日

中島小学校では、10月26日(木)に北九州市子ども読書の日を取組を行いました。1校時はたてわり読書を行いました。たてわりグループで、1・6年、2・4年、3・5年がお互いに読み聞かせを行いました。2～4校時は、学年ごと(低学年、中学年、5年生、6年生)にブックヘルパーの方たちが「おはなし会」を開催してくださいました。絵本を通して、心豊かな人になってほしいと願っています。

たてわり読書

絵本読み聞かせ

科学マジック

紙芝居読み聞かせ

英語絵本読み聞かせ

人形劇

≪読書活動に関する活動内容参考例≫

| 活動名 | 活動の具体例 |
|-----------|---|
| ビブリオバトル | おすすめの本の紹介文を書いたり、紹介スピーチをしたりして、聞いた人や見た人が「どの本を読みたくなったか」を基準に投票や話し合いをし、チャンプ本を決めます。 |
| ブックトーク | あるキーワードのもとに、複数の本を準備し、話のつながりを作りながら順序よく内容を紹介します。 |
| ストーリーテリング | お話を覚え、子どもの顔を見ながら語ります。 |
| ペープサート | 紙人形劇のことです。登場人物をかいた紙を表裏2枚張り合わせ、持ち手を付けたものを使います。 |
| エプロンシアター | 演じる人が着たエプロンを背景に見立て、フェルト等で作った人物をポケットから登場させ、劇を演じます。 |
| パネルシアター | パネルボード上で、不織布にかかれた絵を貼ったり動かしたりして、劇を演じます。 |
| アニメーション | 参加する子どもたちが、ある本を読んだ上で楽しむゲームやクイズなどの活動です。 |

